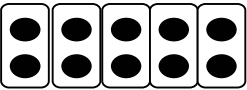
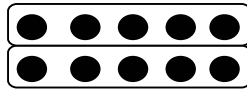


# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立横路小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 かけ算 (1) あたらしい計算をかんがえよう
- ④ 本時の目標 基準量といくつ分を見分けて、式の表し方を考えることができる。
- ⑤ 学習の流れ (16時間目/全19時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 学習問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ① ドーナツを2こずつ、5人にくばります。ドーナツは、ぜんぶで何こいりますか。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ② ドーナツを2人に5こずつくばります。ドーナツは、ぜんぶで何こいりますか。                 </div>	・図に表して、基準量「いくつ」の「いくつ分」を調べて式を考えている。 [数学的な考え方] (ワークシート・発言)
2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     2つのにているもんだいのしきとこたえをかんがえよう。                 </div>		
3 見通しを立てる。		
4 自力解決をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p><math>2 \times 5 = 10</math></p> <p>① ドーナツは2こずつ5人にくばる</p> <p>② 1つ分は、2こ</p> <p>③ 2こが5つ分だから <math>5 \times 2</math> ではない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p><math>5 \times 2 = 10</math></p> <p>① ドーナツは5こずつ2人にくばる</p> <p>② 1つ分は、5こ</p> <p>③ 5こが2つ分だから <math>2 \times 5</math> ではない</p> </div> </div>	・考えの説明でつまづいている児童には、式に使った数字と図を結ぶよう助言し、数の意味を明確にするよう助言する。	
5 集団解決をする。	・2つの問題の図と式を最初に全体で確認させる。 ・ペアトークで、各自の考えを図を示しながら交互に説明させる。	
I 説明します。①の式は $2 \times 5$ で、こたえは10だと思ひます。 1人分のドーナツは2こなので、2つずつ囲みました。それが5人分あるので、式は $2 \times 5$ になります。 II 説明します。②の式は $5 \times 2$ で、こたえは10だと思ひます。 1人分のドーナツが5こなので、5ずつ囲みました。それが2人分なので、式は $5 \times 2$ になります。 ----- ・ ぼくも、①の式は $2 \times 5$ だと思ひます。それは2このかたまりが5こ分あるからです。 ・ わたしも、②の式は $5 \times 2$ だと思ひます。 $2 \times 5$ だと、1人分のドーナツが2こずつになってしまうからです。 ・ 答えは2つとも10だけど、式は違う式にしないとイケないと思ひます。わけは、2のいくつ分と5のいくつ分で、□の中身が変わるからです。		
6 本時の学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     「1つ分」を見付けて、「いくつ分」をかけると、正しいしきとこたえになる。                 </div>		
7 適用問題を解く。		
8 学習を振り返る。		

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 図に表したことを式化したり、図と式の間を考へて数値の対象を明確にしたりすることを通して、思考したことを表現することができる。
- 「○が△こ分」であることなどを説明したり、図と式のつながりについて説明したりすることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 思考を深めさせるために、考えたり表現したりする視点を明確にするよう発問を工夫する。
- 集団解決の場面では、児童が意見を出しやすいように、ペアトークをしてから全体の場に広げていく。